（昭和17年9月1日第3種郵便物認可）　中日新聞　2012年（平成24年）7月17日（火曜日）
©中日

さようなら原発10万人集会で脱原発などを訴える参加者＝16日午後、東京都渋谷区の代々木公園で（坏真一撮影）

さよなら原発17万人

名古屋聴取会

政府が発電量
聞く三回目の意
言者の中に中部
一部から「やら
た。＝関連㉗面

意見聴取会をめ
ては、十五日に開
た仙台市の会場で
北電力や原発推進
の幹部二人が発言

さよなら原発17万人

東京電力福島第一原発事故を受け、作家の大江健三郎さんらが呼び掛けた「さようなら原発10万人集会」が十六日、東京都渋谷区の代々木公園で開かれた。三連休の最終日で全国から参加者が集まり、関西電力大飯原発3号機（福井県おおい町）に続き、4号機でも再稼働を決めた政府への抗議の声に包まれた。＝関連②⑬㉗面

東京・代々木公園で集会

最大規模 熱いうねり

参加者数は主催者発表で約十七万人で、警視庁関係者によると約七万五千人。主催者によると、反原発を訴える集会としては、昨年九月に東京都新宿区の明治公園で行われた集会を上回り、過去最大規模という。

公園内のサッカー場に設けられたステージには、呼び掛け人の著名人らが次々に登壇。音楽家の坂本龍一さんは「電気のために美しい日本、国の未来である子どもの命を危険にさらすべきではない」と訴えた。

参加者はサッカー場を埋め尽くし、野外音楽堂前の広場や公園内の道路などにも広がった。「福島につながろう」「再稼働おことわり」などと書かれたパネルなどを掲げた。

労組や市民団体など組織による呼び掛けに応じた人だけでなく、インターネットなどで分かれてパレードが繰り広げられ、会場内でトークや音楽のライブも行われた。

大江さんらが「原発ゼロ」を訴え一千万人を目標に取り組んできた署名は七月八日現在で約七百八十五万人分に達しているという。

集会を知った市民らの姿も。会場内や最寄り駅を結ぶ歩道などでは、一時身動きが取れないほど混雑し、警察官がマイクを使って誘導や警戒に当たった。

会場から新宿や恵比寿方面など三コースに

市民の不信感 強まる

解説

国民の声を聴くといいながら、再び電力会社在籍者の発言を許した政府の意見聴取会。関西電力大飯原発3、4号機（福井県おおい町）の再稼働を強引に決めるなど、ただでさえ「原発回帰」の姿勢が疑われるだけに、政府への不信感は一層強まりそうだ。

政府は十六日の名古屋を含め八月四日までに全国十一カ所で意見聴取会を開催。ところが、開催場所は七月十四日のさいたま市と八月一日の福島市など三カ所を除けば、いずれも電力会社の本店所在地。七月二十八日の北陸の開催地は利便性の良い金沢市ではなく、北陸電力の本店がある富山市が選ばれ、電力会社への配慮がにじみ出ていた。

聴取会に加え、全国三千人を対象にしたアンケートと討論を組み合わせた「討論型世論調査」やパブリックコメントの募集などを実施。政府はこれらを通じた国民的な議論によって、八月末をめどに将来の原発比率を最終決定するとしていた。

しかし、脱原発を求める市民からはもともと「アリバイ作り」「反対派のガス抜き」との批判が強く、今回の電力会社幹部・課長の聴取会出席で早くも不信感を買うことになった。

政府が示す原発比率の三案は、原子力政策の中核とされてきた核燃料サイクルの行方を大きく左右する。これを維持しようとする電力会社や官僚ら「原発ムラ」の抵抗が強まることが予想されるだけに、政府は政策決定にこれまで以上に公平性

政府が示した今後の原発依存度と核燃料サイクルの三つの選択肢

原発依存度（2030年）	使用済み核燃料の処分	六ケ所村再処理工場	高速増殖原型炉「もんじゅ」の今後
0%（脱原発）	全て地中に埋める直接処分	廃止	開発中止
15%（40年廃炉を想定）	再処理と直接処分の併存	稼働	5年程度動かす
20～25%（原発の新増設も）	再処理と直接処分の併存	稼働	5年程度動かす
	全て再処理	稼働	10年程度動かし技術確立

名古屋聴取会

中電課長が原発推進発言

個人参加「やらせ」批判も

政府が発電量に占める将来の原発比率について国民の意見を直接聞く三回目の意見聴取会が十六日、名古屋市で開かれた。九人の発言者の中に中部電力の課長が含まれ、原発推進を主張した。会場の一部から「やらせだ」などと批判の声が上がり、一時騒然となった。＝関連㉗面

意見聴取会をめぐっては、十五日に開かれた仙台市の会場でも東北電力や原発推進団体の幹部二人が発言者に選ばれており、公平性の確保や運営方法が問題視されそうだ。

発言したのは、中電原子力部に勤務する課長の岡本道明さん（四六）。「個人的な意見として、原発をなくせば経済や消費が落ち込み、日本が衰退する」と述べ、原発の新増設を前提とする20～25％案に賛成の立場を表明した。さらに「35％案、45％案があれば、それを選択していた」とも述べ、現行で三割程度の原発比率をさらに引き上げる主張を展開した。

岡本さんは聴取会後、報道陣に「会社には事前に個人として参加することを伝えた」と説明。事務局からも「個人なら聴取会の趣旨に反しない」と言われたという。

中電広報部の担当者は「会社の指示で出席や発言をさせたわけではない」と述べた。

聴取会は、政府が提示した二〇三〇年時点の原発比率①0％②15％③20～25％の三案に対し、抽選で選ばれた各三人が意見を述べる形式だった。

0％案を支持する意見として「福島第一原発事故原因がまだ究明されていない」「使用済み核燃料の処分法が確立されていない」があったほか、15％案の支持者は「国民生活への影響も考慮すべきだ」と訴えた。

事務局によると聴取会には三百五十二人の参加応募があり、抽選で選ばれた八十六人が出席。応募者のうち発言を希望していたのは0％案に百六人、15％案に十八人、20～25％案に三十七人だった。

国家戦略室の小鑓（こやり）隆史企画官は「中立性を重視し、機械的な抽選で発言者を選んでいる。事前に勤務先を調査したり、発言者から外したりすることは難しい」と話した。この日の聴取会には八月末に原発比率を取りまとめる政府のエネルギー・環境会議議長を務める古川元久国家戦略担当相も出席した。

や透明性の確保が求められる。

（社会部・鈴木龍司）

意見聴取会　東京電力福島第1原発事故を受け、新たなエネルギー戦略を8月にまとめる政府が、国民の意見を直接聞くために全国11都市で開催。政府のエネルギー・環境会議が将来の原発比率に応じて示した三つの選択肢に関し、抽選で選ばれた9人が意見を述べる。

読者にニュースとお得
中日新聞プラス
chuplus.jp
中日新聞プラス
検索
登録のお問い合わせは
0120-664411
CHUNICHI Web
www.chunichi.co.jp
中日新聞購読申し込みは
0120-454010

政府は日本人から故郷を奪った

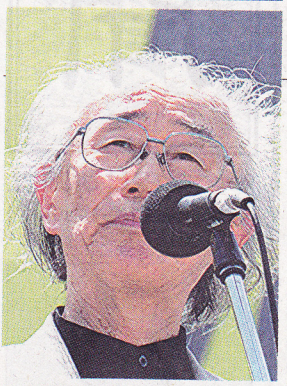
反原発集会 著名人の声

脱原発を訴えた「さようなら原発10万人集会」では、呼び掛け人となった著名人らが、ステージの上から思いを語りかけた。

再び市民の声 感無量

音楽家
坂本　龍一さん

42年前、18歳だった私は、日米安保改正反対でこの公園にいた。日本の市民が再び声を上げたのは感無量です。2050年ぐらいには、家庭や事業所で電気を自家発電するのが常識という社会になってほしい。



政治家は悲劇を学べ

経済評論家
内橋　克人さん

公園を埋め尽くした皆さんの声が、ゆがんだ国や社会の在り方を見直す確かな力となる。福島の悲劇に学ぼうとしない政治家を、二度と国会に送ってはならない。子供や孫、将来のため、私たちの最低限の責任です。

世界につながる問題

作家
瀬戸内　寂聴さん

私たちは集まらなければならない。税金を払った国民だから、政治に言い分があれば口に出していい。これは世界につながる問題。悪いことはやめてくれと、たとえ相手が聞かなくても、言い続けましょう。

再稼働 もくろみ倒せ

作家
大江　健三郎さん

原発事故がなお続く中で、関西電力大飯原発を再稼働させ、さらに再稼働を広げていこうとしている政府に、侮辱されていると感じた。政府のもくろみを打ち倒さねばならない。しっかり、やり続けよう。

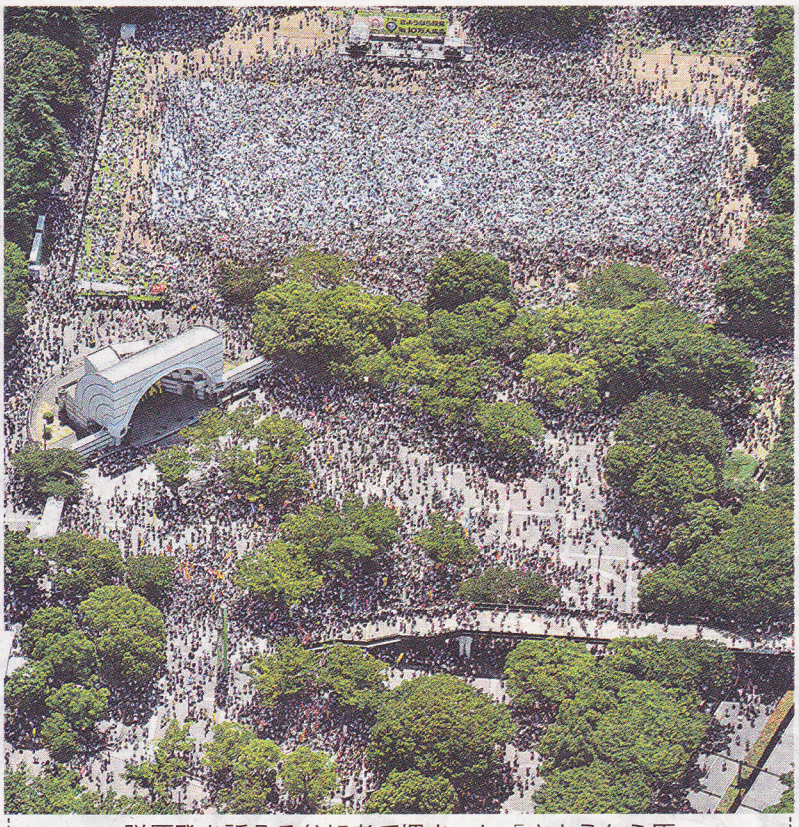
核を捨てる選択して

作家
沢地　久枝さん

核に汚染され、命が細々と生きる地球にしないため、日本が率先して核を捨てる選択をしてほしい。政府は日本人から故郷を奪った。小さい国土にふさわしい規模で、生まれて良かったと思う国にしなくては。

政府は日本人から故郷を奪った

反原発集会 著名人の声



脱原発を訴える参加者で埋まった「さようなら原発10万人集会」の会場＝16日午後、東京都渋谷区の代々木公園で、本社ヘリ「あさづる」から

だれを見ているのか

作家
落合　恵子さん

野田政権に聞く。あなたたちが国民と言う時、だれを見ているのか。今日ここに来ているのが国民であり、市民。性懲りもなく原発を推進する人たちに、本当の民主主義は何かを教えてあげないといけない。

原発ただちにゼロに

ルポライター
鎌田　慧さん

原発が停止していても、地震があったら大事故が起きるかもしれない危険があるのに、まだ原発にこだわっている。国民の生命と財産を無視するような政府を、徹底的に弾劾していく。原発はただちにゼロにすべきだ。

しっかり耳を傾ける　首相

野田佳彦首相は16日、民放テレビ番組で、東京・代々木公園で開かれた「さようなら原発10万人集会」をはじめ、脱原発を求める抗議活動が全国各地で相次いでいることに「（原発は）国論を二分するテーマになっている。さまざまな声にしっかりと耳を傾けたい」と述べた。

首相は「（東京電力福島第１）原発の事故が起きてからまだ１年４カ月なので、複雑な思いを持っている方がたくさんいると思う」とも語った。